

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・2月は寒かったため冬物単価も下ならず、12月、1月の勢いをそのままに良い物が売れ、売上は5%増になっている。
		乗用車販売店（従業員） 乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き 販売量の動き	・決算前であることに加え新型車が好評につき、来客数は増え、販売量が通常月と比べて少し良くなった。 ・2月、3月は最需要期であるため大量に広告宣伝を行い、さらに新型車効果もあり、来客数・販売量共に前年を上回った。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・今月に入って寒さのために、来客数が全然伸びていない。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月に比べて来客数及び売上共に下回った。昨年からのファッション（特に婦人物）が苦戦した。クリアランスも前年維持となった。食品については、リニューアルもあり引き続き好調に推移している。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・生活にかかわる高額商品の売行きが止まり、単価の低い物、セール品の動きが活発化している。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・食料品の原価高騰の影響は、少しずつ店頭価格に現れているが、中国産に対する不安もあり、安全のため少し高い商品でも売れるようになっている。
		乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・客の職種にもよるが、高額車両の購入比率が増えている。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・企業決算期を3月に控え、例年であれば来客数も増えるが、昨年から来客数が増えていない。
		乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・商談に発展することが少なくなった。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・国内旅行が活発でなく客が増えない。若い世代も旅行離れしており、団塊の世代も予想したほど旅行していない。
		通信会社（支店長）	単価の動き	・来客数・販売共に低調で、客単価も低下傾向である。
	やや悪く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・毎年行う通行量調査の結果、通行量の減少傾向に歯止めが掛からない。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・財布のひもが以前にも増して堅くなってきている。必要なもの以外の衝動買いは減り、まとめ買いも少ない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・バレンタイン関連商材及びひな祭り商材も昨年と比較してあまり動かない。
		スーパー（財務担当）	単価の動き	・原材料の値上がり販売商品に転嫁されており、消費者も慎重になってきている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・例年2月は冬物最終セールと春物立ち上げの両方でセット販売を行うが、今年は気温が低く寒いため春物の動きが特に悪く、冬物セールも今一つである。
		家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・購入の意思はあるものの、購入と結び付けることが難しいケースが増えている。財布のひもが一段と固くなってきている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・中国産への不信感から冷凍食品の売上が減少しており、他の部門でその落ち込み分をカバーしきれていない。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数が減ってきている。販売単価の低下が、1～2か月続いている。
タクシー運転手		販売量の動き	・依然として客の利用が少ない。毎年の傾向であるが、この時期が一番減少する。	
通信会社（管理担当）		販売量の動き	・業界全体において、割引サービス等の料金値下げの動きがあり、市場の活性化につながる状態であるが、現時点では大きな動きがない。	
観光名所（職員）		来客数の動き	・入場者数が前年度に比べてかなり減少している。	
ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・閑散期ということもあるが、前年に比べて来場者数が6%落ちている。		
美容室（経営者）	来客数の動き	・平日の来客数が特に少ない。		

		設計事務所（職員）	競争相手の様子	・仕事量の総量の減少及び価格競争による低価格受注が恒常化しており、利益率が低下している企業が多い。
悪くなっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・バーゲンも始まってかなり経つが、必要な物しか買わない。バレンタインがあったが、義理チョコもかなり数を絞った買い方である。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・客の様子を見ると、かなり景気が悪そうで、物を買うにもなかなか決まらなかったり、物を買ってあげたという感覚の客が多い。購買意欲が減っており、単価高い商品が動かなくなっている。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・売上が悪く、続々と値上げの要請がきており、収益的にも厳しくなっている。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	単価の動き	・酒類、加工食品メーカーは続々と値上げを発表して、卸値も値上げを通告してくるが、納入料飲店はメーカー、卸と同時期の価格改定値上げをなかなか受入れてもらえない。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・駅前の店舗よりも、郊外店舗の売上の落ち込みが大きい。ガソリン、小麦等の値上がりのニュースが出るたびに、落ち込みが大きくなっている。
		タクシー運転手	単価の動き	・結婚式・会合・野球のキャンプ等もあったが、自家用車・送迎バスを利用している。夜に街に出るのも5分の1くらいに減り、前年同月比で売上高は2割低下している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・値上げの影響で乗り控えを感じる。夜も飲みに出ている人も少なく、なかなか乗ってもらえない。
		美容室（経営者）	単価の動き	・前年同月と比べ来客数は同じぐらいではあるが、単価が低く押さえられ厳しい状況にある。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・改正建築基準法で着工数が落ち込んだが、年度末を控え、自社ブランドで売り出したマンション向けの部材の売上は増加している。個人住宅の着工数は落ちていないので、個人住宅向けの部材も売上増に寄与している。ただし、建材メーカーは低調に推移している。
	変わらない	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・鉄筋はじめ資材の値上がり著しく、受注時より高い場合がある。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・業種によって差はあるが、造船関係等については、かなり受注量が増えている。
	やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・小売店への価格修正が、今月もまだ全部はできていない。少しずつ修正できているが、十分とはいえない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・大型クレーンの引き合いは強いものの、高所作業車が電力電気関係及び通信業界の工事量減少により、総需要で前年比割れとなる。小型クレーンもトラック需要の低迷のあおりを受け前年比割れとなっている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・相変わらず引き合いが少ない。大手競合先他社の四半期決算の状況を見ても、原油の高騰、鉄鉱石・穀物価格等の先高感の影響が出ている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大手の景気が、ここにきて下降したような感じがする。製紙会社の設備工事を行っているが、契約単価がなかなか決まらず、そういったことが顕著になってきている。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼関係の一部では出荷量が大口化し、大きく増加しているところも見られるが、総じて前年割れで低調に推移している。
		輸送業（役員）	取引先の様子	・企業の物流合理化要請が強く、運賃値下げや輸送手段の変更等が続いている。
広告代理店（経営者）		取引先の様子	・経営不振で、得意先の経営権が実質的には他社に変更になっている。	
広告代理店（経営者）		受注量や販売量の動き	・原材料の高騰が進んでいる。用紙については、古紙偽装の関係から値上げはもう少し先になる状況である。	
	公認会計士	取引先の様子	・今月の各関与先企業の月次試算表あるいは決算書等を見ると、前年比でマイナスになっている企業が75%ある。	
悪くなっている	食料品製造業（従業員）	それ以外	・今回の冷凍ギョウザで、冷凍食品が売れない状況になっている。	

		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・例年なら、年度末の予算消化のための工事がかなり出てくるのだが、今年はほとんど出てきていない。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	求職者数の動き	・依然として愛媛や四国への転職希望者は減少傾向にあり、四国内の優秀な人材は中央へ流出している。
		求人情報誌製作会社（従業員）	求職者数の動き	・求人企業は多くあるが、求職者の動きが鈍い。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・1年のうちで、一番依頼の多い時期であるにもかかわらず、前年割れである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・今まで求人をしていた企業が、求人を取り消したり、期限切れの求人の更新をしなかったりするケースが、最近目立つようになってきている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・就職件数は、対前年比11%の減となっている。特に正規の採用数が減っている。
民間職業紹介機関（所長）		求人数の動き	・求人数が前年を下回っており、企業側の疲弊感が感じられる。決算時期を控え、業種間の格差はあるが、売上が前年割れ、または前年並みの企業が多く、求人を出すゆとりがない。	
悪くなっている				